

FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321

会長：鈴木廣利 副会長：桜井富郎 幹事：松葉隆夫 副幹事：後藤 功

第1653回

<ソング> それでこそロータリー
<ソングリーダー> 松葉義之君



SERVICE Above Self

2005-2006年度 RIテーマ

超私の奉仕

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー



最後の1個(柿)

写真提供：青島克郎君

会長挨拶

鈴木 廣利君

また寒気団が南下して先週末の雪から寒さが厳しくなりました。1月の20日、旧暦では12月21日になりますが、この日は大寒で1年で1番寒い頃と云われています。静岡県中部では位置的に2月末から3月に雪が降る事はあるが1月のこの頃に振るのは、それも大寒の日に雪が降るのは珍しい事です。

さて、先週の土曜日に第5分区の会長・幹事会が島田で行われ幹事の松葉君と出席しました。

議題は、4月23日に行われるIMの件、そしてそれに伴うガバナー補佐の公式訪問の日程調整等でしたが、今回のIMは静岡第4第5分区合同の為、人数も多く大変な様で更なる協力を要請されました。尚、牧田ガバナー補佐の公式訪問日は3月29日に決まり、IM実行委員長もご一緒にお見えになります。当日はぜひ全員の例会出席をお願いしたいと思います。

又ガバナー補佐は挨拶の中で今回のマンション・ホテル等の偽装問題にふれ、「姉歯設計士やヒューザーの小嶋社長が、もしロータリアンであったなら、あのような道義に反するような行為はできなかったでしょうに」と、話されておりました。私もそれを聞いて、今度の事件はとても残念な事だと思いました。

私達もロータリーソング「四つのテスト」をこれからも実践していきたいものです。

尚、毎月5日と20日に発行されております「広報藤枝」によりますと、藤枝市の人口は、平成1

7年10月1日現在、12万9,256人だそうです。参考までにお知らせします。

幹事報告

松葉 隆夫君

- EXPO 2005ロータリー館出展記念誌と記念品がRI第2760地区国際博覧会委員会より届いております。
- ロータリーレート\$1=114円に2月より変更のお知らせが日本事務局より届いております。
- 2006~07年度「ロータリーの友」表紙の写真募集の案内が届いております。
- 3月29日 ガバナー補佐公式訪問が決定致しました。

出席報告

後藤 功君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
27/41 65.85%	34/41 82.93%

(1) 欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○飯塚君 ○杉山君 ○村松宏君 ○渡辺君
青島彰君 浅川君 板倉君 桜井富君 酒向君
鈴木晶君 鈴木舜君 仲田晃君 水野君
望月志君

(2) メイクアップ者

杉山 静一君(静岡北)

ビジター

藪崎 幸一君(藤枝南) 伴野 正明君(藤枝南)

スマイルBOX

- ベネファクター寄付金為替差額金をスマイルへ

入れます。

小西 啓一君

- 誕生日の祝品ありがとうございました。年令的には喜寿を迎えました。 江崎 友次郎君
- 誕生祝ありがとうございました。 小宮弘一郎君
- 1月16日 56才の誕生日をむかえました。

村松 英昭君

- 女房の誕生日祝いありがとうございました。ロータリークラブからのお祝いを頂いたおかげで結婚以来初めてケーキを買うはめになりました。ありがとうございました。

やっと長女が1月8日嫁ぎました。鬼の目にも涙でした。やっぱり淋しいものですね。

前島 章男君

- 結婚記念祝ありがとうございました。

山田 昭雄君

スマイル累計額 569,000円

委員会報告

保健委員会 柳原寿男君

インフルエンザが、猛威をふるう季節となりました。抵抗力の弱い人がインフルエンザウイルスに感染すると、速やかに発症します。悪寒を伴って高熱を発し、それと共に頭痛、関節痛、筋肉痛があります。のどの痛みやせきも出ます。しかし高齢者では、あまり熱も高くなくて肺炎になったり、乳幼児では脳症、脳炎を合併して死に至ることもあります。ワクチンを接種していても罹る場合があって油断できません。普通のかぜと症状だけでは区別出来ませんが、幸い迅速に診断する方法があります。2～3分から十数分で分かります。もしもインフルエンザと診断されたら、48時間以内に特効薬タミフルを服用することで、高熱も2日位で速やかに消失します。

かぜを引いたと思ったら、置き薬などを服用せず、医療機関を受診して、正しい診断を受け、適切な治療を受けましょう。

会員卓話

岩崎 四郎君

【景気の見方、読み方】

事業を進めていく上で、私達金融機関も又、企業を営んでいる経営者の方々も日本経済の行方がどのような方向にあるのか、見極めていくことも一つの重要な点であります。

先ず これまでの日本経済について述べてみますと、輸出企業が東南アジア、中国、アメリカ、EUへの輸出拡大（自動車、デジタル（カメラ、家電）等により企業業績の大幅な改善が見られ日本経済は外需主導で支えられてきました。その後、企業のリストラ（人員整理）、経費削減努力、個人消費も加わり国内企業も企業業績は好転、現在は内需主導で息の長い回復軌道を辿っています。



景気が良く企業業績が上がれば⇒設備投資増加⇒雇用所得環境改善⇒個人消費増加⇒設備投資意欲の更なる改善が進み景気回復基調が続くであろう。しかしながら地域間格差が依然として続いている。例を挙げると地方景気回復に格差、景気拡大局面で生産動向を示す鉱工業生産指数は、東海地域が30%と最も上昇、最低の北海道は2%低下し、地方ごとの回復力の差が大きくなっている。

先程申し上げましたが、日本経済の行方を見極めるには毎月発表される（新聞等）景気指標（新車販売台数、鉱工業生産指数、スーパー売上高、全国百貨店売上高、有効求人倍率、失業率等）又、日銀短期観測、海外の景気、増税、減税、原油の動き等定期的にチェックし動向を見ていくことが重要、アンテナを高く情報収集も仕事の一部であると思います。

（担当／望月俊）